

< 鉄道の利便性強化方策 >

- ① 高齢者向け運賃施策（シニアおでかけきっぷの通年販売）
- ② 朝便の混雑緩和とダイヤの均等化

< バスや新モビリティサービスとの連携強化方策 >

- ③ コミュニティバスとの乗継改善に向けた運行社会実験
（越中八尾駅・速星駅の交通結節機能強化）
- ④ 乗合バス（笹津駅—富山駅間）の速達便運行社会実験
- ⑤ グリーンスローモビリティによる駅への乗り入れ運行社会実験
（笹津駅の交通結節機能強化及び路線バスとの協調）
- ⑥ 自動運転技術を活用した運行社会実験（速星駅の交通結節機能強化）

< デジタル技術の活用方策 >

- ⑦ AIカメラを活用した人流計測とP&R駐車場の利用状況把握
- ⑧ コミュニティバスのAI顔認証システム導入による乗継利便性の向上

< 地域との協働方策 >

- ⑨ 沿線地域と協働した賑わい創出方策

①高齢者向け運賃施策(シニアおでかけきっぷの通年販売)

■目的

JR高山本線の利用促進と沿線地域の活性化に向け、高齢者向け割引乗車券「高山本線シニアおでかけきっぷ」を発売。

令和4年度の実証実験の結果から、令和5年度は通年販売を実施予定。

■きっぷの概要

市内在住の65歳以上の方が、JR高山本線を利用してまちなかへ出かける際に、1乗車100円で利用できる特別企画乗車券

■発売期間

令和5年4月1日
～令和6年3月31日

■発売価格

4枚つづり400円
[1乗車につき1枚]

■利用条件

- ①JR高山本線「富山駅」～「猪谷駅」間が対象
- ②9時～17時の普通列車が対象
- ③富山駅で乗車または降車をする場合に限る

高山本線ブラッシュアップ会議 [富山市、富山県、JR 西日本]

65歳以上の富山市民のみなさまへ

高山駅周辺へのおでかけが便利になる!

高山本線

シニアおでかけ
きっぷ

— 発売期間 [期間限定] —
2022. 4.19(火) ~ 9.19(月)

— 対象者 —
市内にお住まいの65歳以上の方
※昭和33年4月1日以前に生まれた方

— 利用条件 —
・9:00～17:00の普通列車が対象です。
・富山駅で乗車または降車する場合に利用できます。

1枚あたり100円
1冊4枚つづり400円で発売

富山 ↔ 西富山 ~ 猪谷
西富山: 遠星、千原、中八尾、東八尾、荻原、徳原

お問い合わせ先 富山市交通政策課 TEL: 076-443-2195 [列車の運行等について] JR西日本お客様センター TEL: 0570-00-2486

※上図はR4実証実験時のチラシ

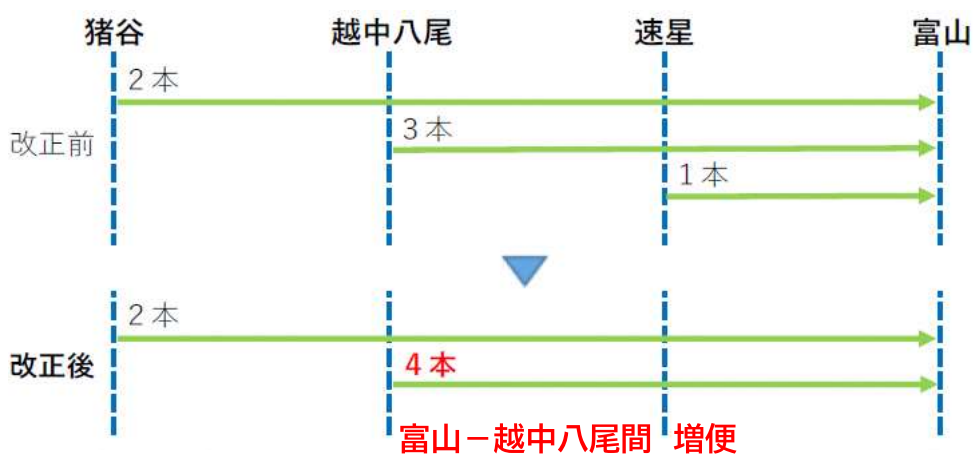
②朝便の混雑緩和とダイヤの均等化

■事業の概要

朝の「富山駅」-「速星駅」間の1往復を「越中八尾駅」まで延長運転することにより、朝ピーク時の混雑の分散化を図る。また、「越中八尾駅」の出発時刻を均等化し、わかりやすく便利なダイヤを設定。

▶ 2023年春のダイヤ改正から実施

越中八尾発富山行きの列車本数(6~8時)



越中八尾発富山行き時刻表

	6時		7時			
改正前	28		2	15	28	39
改正後	26	45	0	15	30	40

ダイヤの均等化
15分間隔で運転

□ 新たに越中八尾始発となる列車

[出典先] 12/16 JR西日本プレスリリース資料より

< 施策前の混雑状況(R4年度乗降調査結果より) >

富山方面						富山		← 西富山		← 婦中鵜坂		← 速星		← 千里		← 越中八尾												
種別	便名	行先	特記事項	車両数	定員	富山着	降車	乗車	区間	混雑率	降車	乗車	区間	混雑率	降車	乗車	区間	混雑率	降車	乗車								
普通	841D	富山		2	210	6:04	23		23	11%	1	2	22	10%	0	2	20	10%	0	7	13	6%	0	2	11	5%		11
普通	843D	富山		2	210	6:53	124		124	59%	7	7	124	59%	1	9	116	55%	1	44	73	35%	0	21	52	25%		52
普通	845D	富山		2	210	7:13	158		158	75%	4	8	154	73%	0	32	122	58%		122	0	0%			0	0%		
普通	847D	富山		2	210	7:36	192		192	91%	24	6	210	100%	0	17	193	92%	3	54	142	68%	2	46	98	47%	1	68
普通	849D	富山		2	210	7:47	233		233	111%	25	14	244	116%	0	29	215	102%	0	85	130	62%	0	47	83	40%		83
普通	851D	富山		2	210	7:57	245		245	117%	28	21	252	120%	1	23	230	110%	21	82	169	80%	1	50	120	57%	9	50
普通	853D	富山		2	210	8:16	158		158	75%	29	18	169	80%	1	21	149	71%	44	47	146	70%	0	48	98	47%		98
普通	855D	富山		2	210	8:47	110		110	52%	1	11	100	48%	13	13	100	48%	2	57	45	21%	0	16	29	14%		29

延長運転 対象便

朝ピーク時の混雑便:混雑率100%を超える

③コミュニティバスとの乗継改善に向けた運行社会実験

(1)八尾コミュニティバスの取組

令和4年8月1日から実施している八尾コミュニティバス実証運行について、利用者の利用状況や、利用者及び地域住民へのアンケート結果を踏まえ、ダイヤやルートを変更し、高山本線との乗り継ぎ利便性を更に高めるもの。



実施期間

- ・令和5年4月1日～令和6年3月31日(予定)

主な見直し内容

- ・越中八尾駅の乗り場を東口から西口(駅舎正面)に変更し、乗継距離を短縮
- ・高山本線と乗継しやすいダイヤ設定 (対象路線:保内線、杉原線)
- ・一部路線を増便
- ・利用者が少ない便をデマンド化

(2)婦中コミュニティバスの取組

速星駅から大型商業施設(ファボーレ)、行政施設、総合病院等を繋ぐ婦中コミュニティバスについて、ダイヤやルート等を検討し、高山本線との乗り継ぎ利便性を高める運行社会実験を実施予定。



実施期間

- ・令和5年度:ダイヤ・ルート等の検討
- ・令和6年度:運行社会実験

④乗合バス(笹津駅—富山駅間)の速達便運行社会実験

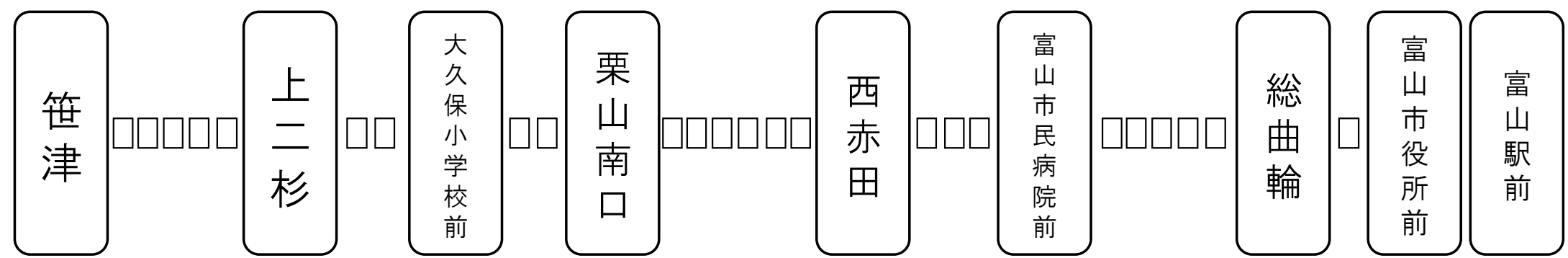
■事業の概要

JR高山本線笹津駅から富山駅間のネットワーク機能の強化を図ることで、利便性の向上、笹津駅の交通結節機能の強化及び災害時におけるJR高山本線のリダンダンシー(補完機能)としての可能性を検証するため、乗合バス笹津駅から富山駅間において、朝の通勤・通学時間帯の二便を利用者の多い主要なバス停のみに停車する速達便の運行社会実験を実施。



- (1)対象路線 路線バス 笹津駅—富山駅間
- (2)対象時間 朝[7~8時間]の時間内に設定(※便数は検討中)
- (3)実施期間 令和5年度秋頃から(予定)

■停車停留所のイメージ(※) 通常便移動時間:45分 → 速達便移動時間:36分(▲9分)



※停車停留所及び移動時間はイメージであり、詳細は今後検討予定

⑤ グリーンスローモビリティによる駅への乗り入れ運行社会実験

■事業の概要

地域住民の生活の足を確保するために、大沢野地区で実施予定のグリーンスローモビリティ(※)の運行社会実験において、笹津駅乗り入れによる交通結節機能の強化や笹津駅と笹津バス停留所間を往来可能なルートに設定することで路線バスとの協調を図るとともに、その効果を検証。

※グリーンスローモビリティ

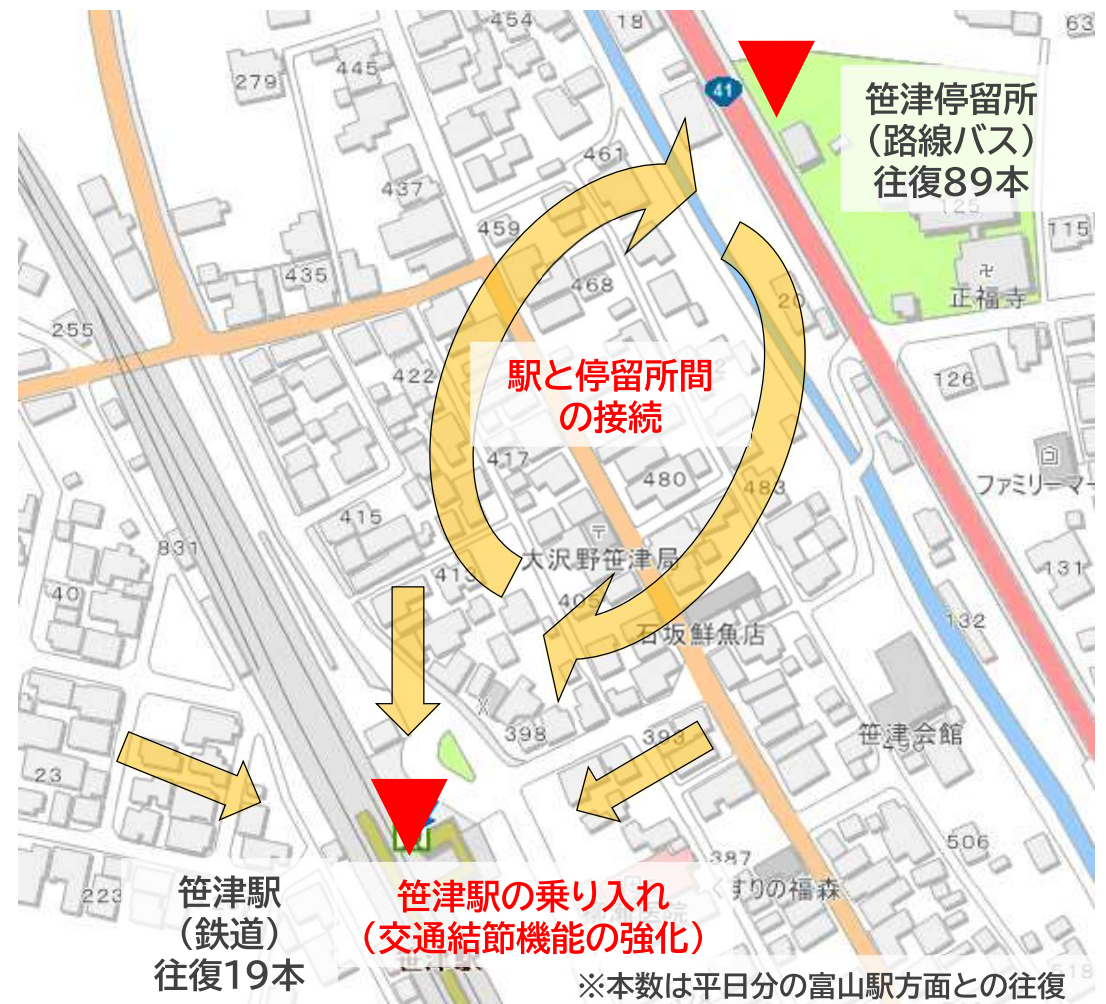
時速20km未満で公道を走行可能な電動車を活用した環境にやさしい小さな移動サービス

■実施期間 令和5年度秋頃から(予定)

Boule BaaS(バスタイプ)



ランドカータイプ



⑥自動運転技術を活用した運行社会実験

■事業の概要

地域住民の生活の足を確保や運転手不足などの課題解決するために、婦中町朝日地区で自動運転技術を活用した運行社会実験を実施。公共交通との更なる連携を図るために、鉄道駅(速星駅)と接続し、その効果を検証。

■実施期間

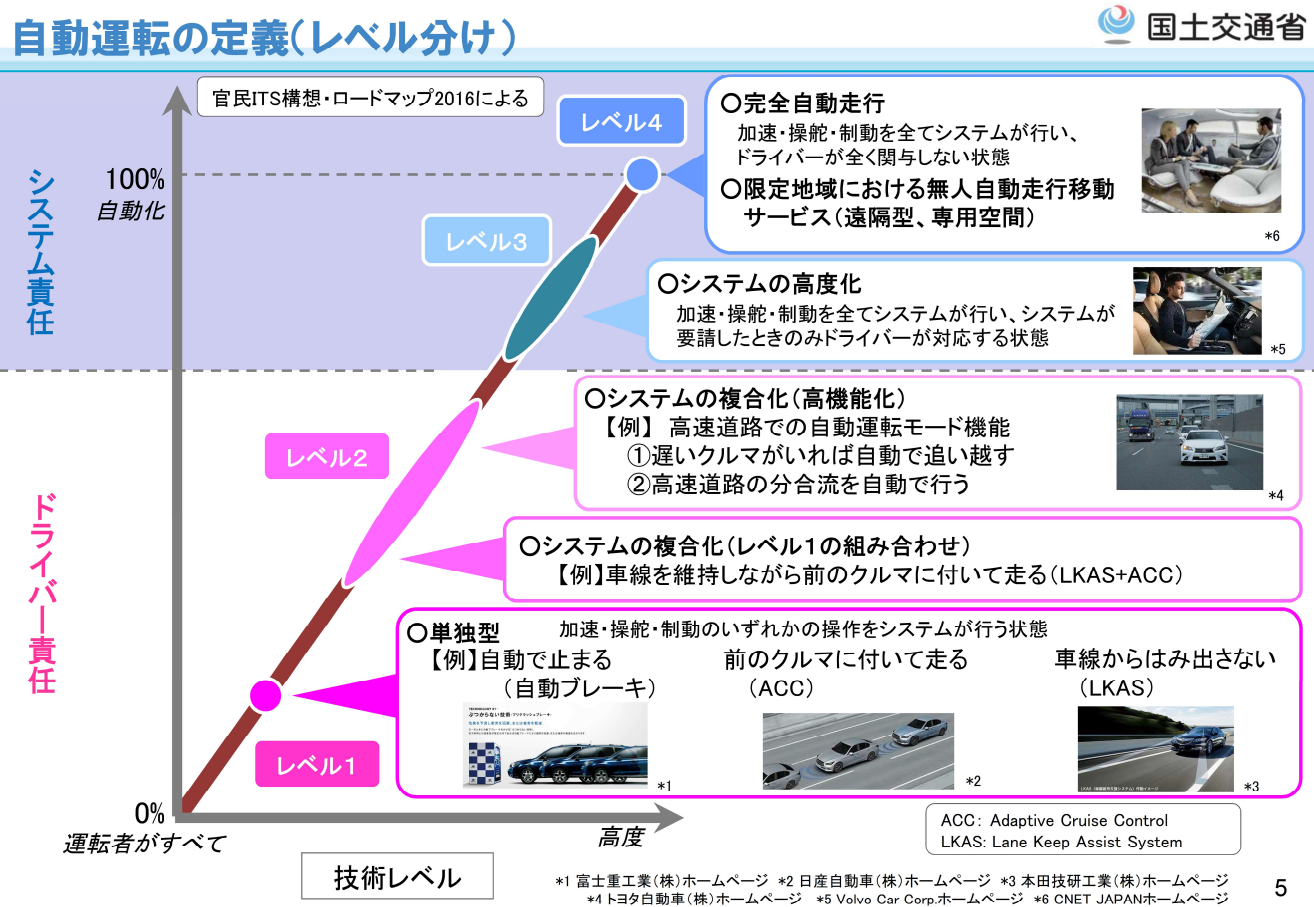
令和5年12月から3カ月(予定)
平日のみ 10時から16時(昼時間は除く)

■運行形態

定時定路線 30分間隔 10便/日
運行延長 約4km圏域

■実証内容

- 自動運転レベル4を目指した実証(複数年に渡り実施予定)
- 鉄道駅との接続(公共交通との連携)
- 公共交通空白地域の解消
- 積雪時の実証 など



自動運転の定義[出典:国土交通省HPより]

⑦AIカメラを活用した人流計測とP&R駐車場の利用状況把握

■事業の概要

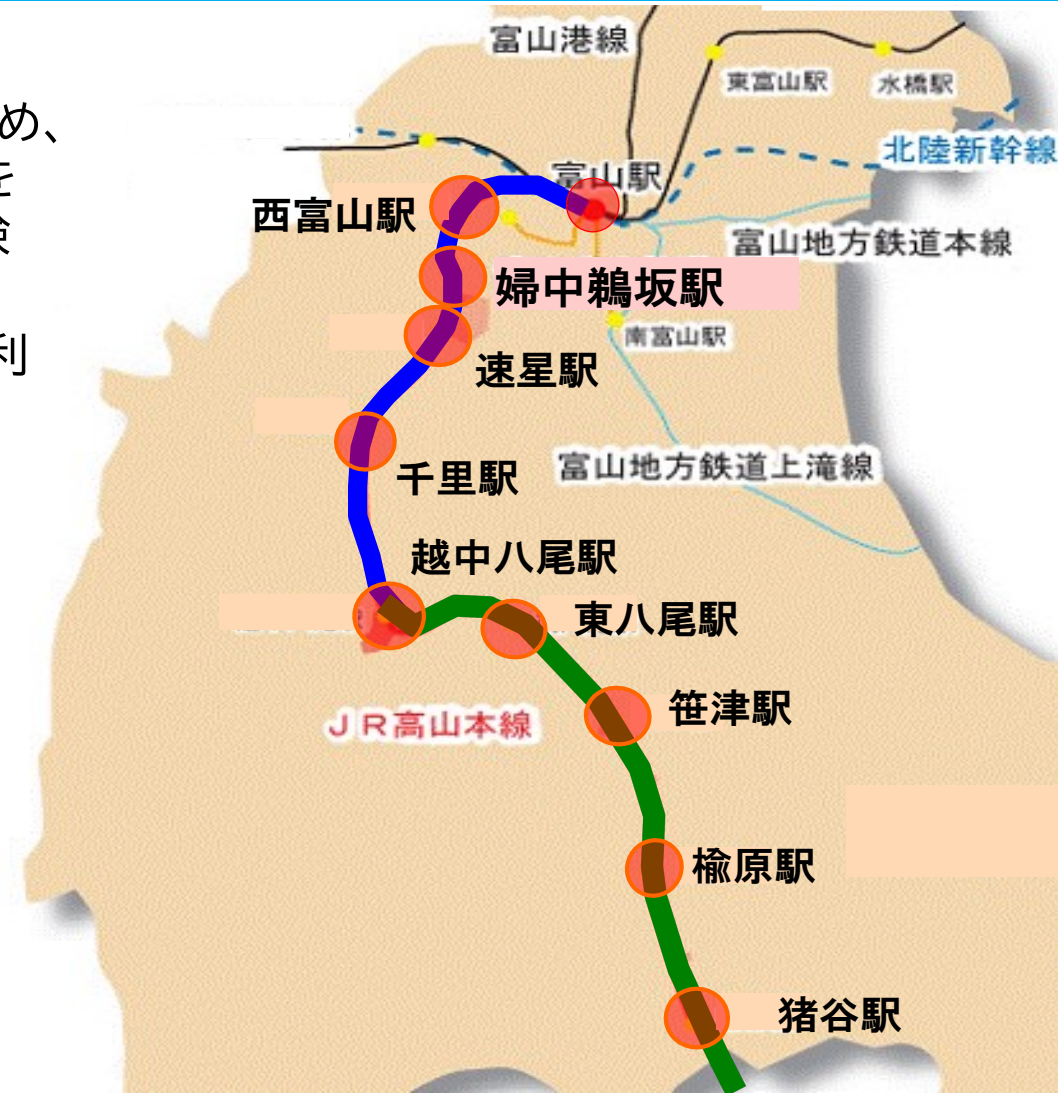
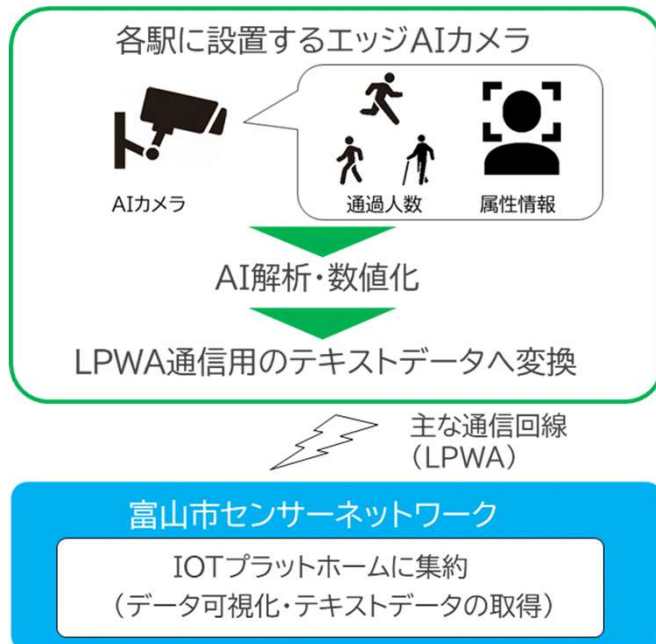
JR高山本線の更なる利便性向上による利用促進を図るため、駅利用者の日々の人流や属性(年代、性別等)をAIカメラを用いて計測し、新たな施策の効果検証や利便性促進策の検討に活用。

また、駅付近のパーク&ライド(P&R)駐車場にも設置し、利用状況をリアルタイムに把握しオープンデータ化を図る。

<AIカメラ設置箇所>

- ①高山本線各駅周辺(富山駅～猪谷駅):10箇所
- ②高山本線P&R駐車場:6箇所

<システム構成イメージ>



■データの活用方策例

- 1) 各駅の利用特性を把握しモビリティマネジメントの推進に活用
- 2) 新たな施策の効果把握に活用
- 3) P&R駐車場の利用状況のオープンデータ化 等

⑧コミュニティバスのAI顔認証システム導入による乗継利便性の向上

■事業の概要

JR高山本線とのシームレスな乗継の実現、及びバス利用者の更なる利便性の向上やキャッシュレスによる効率化を図るため、市営八尾コミュニティバスの一部にAI顔認証システム(※)を導入。

※AI顔認証システム

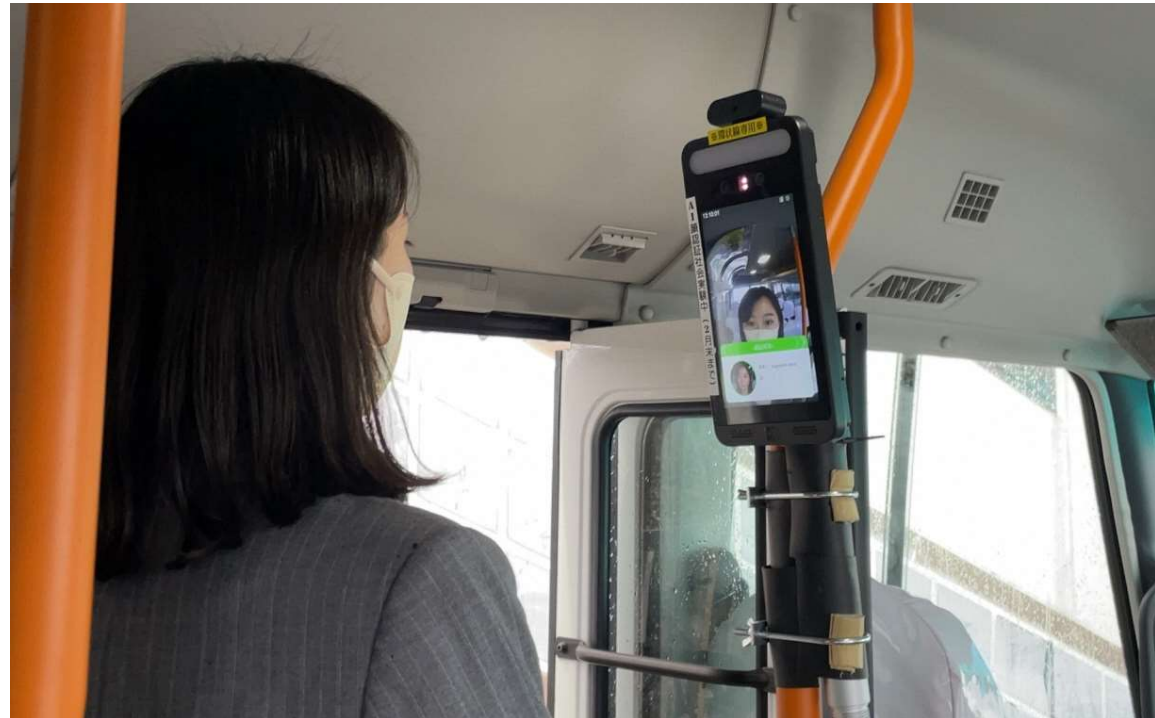
事前に自身の顔とクレジットカードを登録することで、降車時にタブレット画面に顔をかざすだけで自動で運賃の決済ができるシステム

■対象路線

八尾環状線(越中八尾駅 ⇔ 諏訪町方面)

■実施時期

令和5年4月から(予定)



⑨沿線地域と協働した賑わい創出方策

■事業の概要

高山本線沿線の賑わい創出や地域にとって親しみのある駅(拠点)とするために、駅前広場や駅施設をイベント等で活用を検討するもの。各イベントについては、今後、地域の各団体等と連携を図りながら実施に向けて検討を深度化。

■検討内容例

・越中八尾駅

地域住民や商工会などと連携し、駅前広場を活用したイベントを検討

<例>

- ・高山本線全線開通90周年(2024年)や越中八尾駅創立100周年(2027年)に向けた機運醸成
- ・地元商業者と連携した賑わいイベント 等



越中八尾駅前広場

・笹津駅

地域住民の憩いの場として、笹津コミュニティ施設を活用したイベントを検討

<例>

- ・高山本線に係る写真展示 等



笹津コミュニティ施設内観



笹津駅(笹津コミュニティ施設) 外観



笹津駅前広場 外観